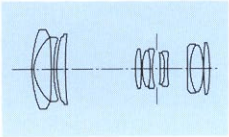
超広角的24ミリを組み込んだ標準ズーム

24〜70ミリ

シグマ24-70mmF3.5-5.6 ASPHERICAL



かつて、焦点域がありすぎるズームは、レンズのオアソビみたいな撮り方になりかねないなどと言われ、高倍率ズームはおすすめレンズには入れられなかったのだが、現代は新・映像の時代。このレンズはこう使わなければいけないなどと理屈をこねている間に、みんなが軽快フットワークで自在にズーミングを楽しんでいる。

で、標準ズームの35〜70ミリはいまや古典的焦点域になっていて、28〜70ミリが標準ズームのスタンダードレンズ。そして24〜70ミリもごくフツーのレンズ感覚になっている。

標準ズームということは、[illegible]全域が自在に使えるかど[illegible]がポイントだ。極端な画面変化[illegible]望人は35〜70ミリ、28ミリ[illegible]常用こう感じのスナップ派は28[illegible]広角側の画面変化が自然[illegible]られる人は24〜70ミリという[illegible]

24ミリ側で

70ミリ側で

見本